



IWAKUNI日米合同交流
コンサート(岩国市)



新春日米交流書き初め
大会(和木町)



【information】

2019年5月5日(日)、米海兵隊岩国航空基地・海上自衛隊岩国航空基地において、「フレンドシップデー」が開催されます。

目次

- ◆ 日米交流事業「新春日米交流書き初め会」開催
- ◆ 日米交流事業「IWAKUNI日米合同交流コンサート」開催
- ◆ 第30回防衛問題セミナー～明治150年記念セミナー～
- ◆ 海上自衛隊呉地方總監 御挨拶
- ◆ 陸上配備型イージス・システム(イージス・アショア)について
 - ①ボーリング調査に係る阿武町議会、萩市民及び阿武町民の方々への現地説明会
 - ②原田防衛副大臣による山口県庁への表敬
 - ③電波環境調査に係る萩市民及び阿武町民等の方々への現地説明会
 - ④陸自対空レーダーを用いた電波実測調査に係る萩市・阿武町各議会、萩市民及び阿武町民等の方々への現地説明会
- ◆ 防衛施設周辺対策事業の紹介(ソフト事業)
- ◆ 広島経済大学における藤本防衛補佐官による講義
- ◆ 職員の独り言
- ◆ 2019年度防衛省専門職員採用試験についての御案内



編集・発行 中国四国防衛局
〒730-0012 広島県広島市中区上八丁堀6-30
Tel 082-223-7109

日米交流事業「新春日米交流書き初め会」開催

平成31年1月5日、山口県和木町にある和木町立和木小学校において、今年で2回目となる日米交流事業「新春日米交流書き初め会」を中国四国防衛局主催により開催しました。

当日は、米海兵隊岩国航空基地司令のファースト大佐、和木町の米本町長をお迎えし、和木町内の小・中学生と米軍岩国基地内のガールスカウトに所属する児童約50名が参加しました。

オープニングでは、広島県立大竹高校書道部による書道パフォーマンスがあり、子供達は大きな筆を操る高校生の姿をじっと見つめていました。参加者はその後、日米混合のグループに別れ、それぞれ自分が書きたい文字を書いていました。書き初めの体験ではパフォーマンスに参加した大竹高校の生徒も指導にわり、子供達との交流を図っていました。

書き初め会の後は、日本のお正月の遊びである凧揚げや羽子板、けん玉等を体験しました。

今回の書き初め会の作品については、1月11日から16日の間、和木町立和木美術館に展示されました。





日米交流事業 「IWAKUNI日米交流合同コンサート」 開催

平成31年2月23日 山口県岩国市のシンフォニア岩国において、中国四国防衛局主催「IWAKUNI日米交流合同コンサート」を開催しました。

このコンサートは、米海兵隊岩国航空基地周辺の住民の方々と基地関係者の相互理解を深めるため開催しており、今年で9回目を迎えることができました。

今年は、岩国市立岩国小学校、大竹市立小方小学校、和木町立和木中学校、周防大島町立久賀小学校、米海兵隊岩国航空基地M.C. ペリー・ハイスクール、イワクニ・ミドルスクール及びイワクニ・エレメンタリースクールの生徒ら約240名が参加し、各校がこの日のために練習してきた合唱や合奏など日頃の成果を披露しました。

コンサートの最後を飾ったのは、参加者全員によるディズニー映画の主題歌「リメンバー・ミー」の合唱、合奏で、会場を大いに盛り上げ、来場者は日米の生徒達の素晴らしい演奏に惜しみない拍手を送っていました。



中国四国防衛局の日米交流事業についてはQRコードでご覧いただけます。⇒

平成30年12月25日に呉市絆ホールにおいて、第30回防衛問題セミナーを開催しました。

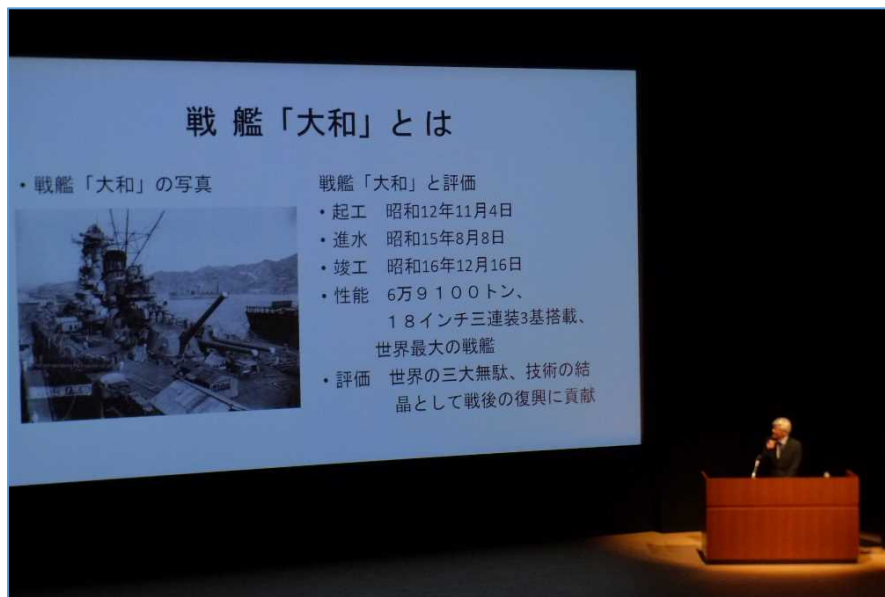
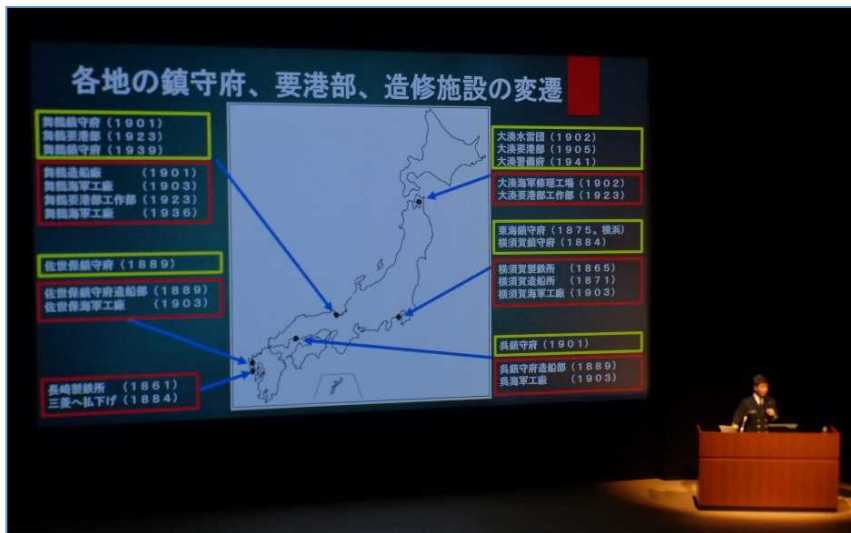
今回の防衛問題セミナーは、明治150年記念セミナーとして、「旧軍港の歴史と文化遺産～鎮守府と工廠のまち・呉～」をテーマに海上幕僚監部施設課金澤裕之3等海佐、広島国際大学客員教授千田武志氏のお二方を講師にお迎えし、講演を行いました。

開催にあたり主催者である中国四国防衛局本多企画部長、そして共催者である呉市の新原市長からご挨拶をいただきました。

第1部として、金澤3佐から「明治150年と日本の近代海軍建設」と題して、日本の海軍の成り立ちや海軍カレーの歴史なども交えてご講演いただきました。

第2部は千田教授より「戦艦「大和」の原点をたずねて～明治期の海軍と呉海軍工廠の形成～」と題して、呉鎮守府の設立に結びついた明治期の軍備拡張計画の変遷について、それぞれの計画の内容や規模について比較しながらご講演いただきました。

質疑応答では会場から「日本と欧米列強では海軍の成立過程が違うのではないか」といった踏み込んだ質問もあり、来場者の関心の高さが窺えました。



防衛問題セミナーの講演内容につきましては中国四国防衛局HPに掲載しておりますので、こちらのQRコードによりご覧頂けます。⇒





平成30年12月20日付で、海上自衛隊呉地方総監を拝命した杉本です。明治22年に海軍呉鎮守府が開庁してから130年という歴史のある呉の地において、呉地方総監として勤務することは、大変光栄であるとともに、身の引き締まる思いです。また、皆様には、平素から自衛隊の活動に対してご理解、ご協力を賜っておりますこと、深く感謝申し上げます。

西日本を中心にその爪痕を深く残した「平成30年7月豪雨災害」が記憶に新しいところでありますが、海上自衛隊だからこそできる「海からのアプローチ」による人命救助や物資輸送の強みを教訓として得ることができました。さらに、今後30年以内には、西日本を中心に甚大な被害が予想されている南海トラフ地震が70～80%の確率で発生すると言われており、来て欲しくはないその時に迅速確実に対処することができるよう、この度の教訓を反映させつつ、その対処計画の策定に尽力しているところであります。

近畿から四国、九州までの、広く太平洋を含む地域の警戒監視や災害対応を担う責任者として、国民の皆様が安心して生活できるよう、より一層任務に邁進する所存でありますので、皆様におかれましては、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



海上自衛隊地方総監部HPにはこちらのQRコードでご覧頂けます。⇒



①ボーリング調査に係る阿武町議会、萩市民及び阿武町民の方々への現地説明会

平成30年12月13日から15日にかけてむつみ演習場内においてボーリング調査に係る現地説明会を開催しました。

現地説明会の中では、中国四国防衛局から赤瀬局長及び本多企画部長ほかが阿武町議会へボーリング調査の詳細な内容や進め方を中心に説明しました。

期間中、萩市、阿武町及びそれ以外の多くの住民の方々説明会に参加して頂き、町議会議員及び住民の方々から貴重なご質問や様々なご意見等を頂きました。

現地説明会の中で、本多部長は「様々な意見に対してできるだけ応えたい」との考えを述べ、住民の方々に真摯に対応していくことを伝えました。



②原田防衛副大臣による山口県庁への表敬



平成30年12月25日、原田防衛副大臣が山口県庁を訪れ山口県知事、萩市長、阿武町長、山口県副知事、山口県議会議長、萩市議会議長、阿武町議会議長に陸上配備型イージス・システム(イージス・アショア)の配備候補地の陸上自衛隊むつみ演習場及び羽月の名水を視察したことをご報告し、演習場とその周辺は緑の豊かな美しい土地であるとの印象や湧水が地元の皆様に大切にされていることについて岩屋防衛大臣にもしっかりとご報告したいとの考えも併せてご説明致しました。

山口県知事、萩市長及び阿武町長からは、引き続き詳細かつ丁寧な説明を行うことや水源を始め周辺環境への影響など、住民の方々への不安が生じないように、きめ細やかな対応を行うことについて、率直な要望がありました。

原田副大臣は「防衛省としても、地元の皆様から頂いているご不安やご懸念を少しでも払拭できるように、現在実施を致しております調査結果を踏まえ、具体的で分かり易い説明に努めてまいります」と述べられました。

③電波環境調査に係る萩市民及び阿武町民等の方々への現地説明会

平成31年2月8日から9日にかけてむつみ演習場内において電波環境調査に係る現地説明会を開催しました。

電波環境調査の現地調査として、電波使用状況調査及び既存通信施設等調査を行いました。電波使用状況調査は、むつみ演習場における受信電波を整理して、自衛隊無線施設との電波干渉の影響を検討するための基礎資料を作成するものです。既存通信施設等調査は、むつみ演習場周辺の既存の通信施設、公共施設等の位置関係や建物の設置状況等を正確に把握し、イーグス・アショアのレーダーによる演習場周辺への電波の影響を検討するための基礎資料を作成するものです。

現地説明会の中で、萩市、阿武町及びそれ以外の住民の方々に対して、電波環境調査の詳細な内容や進め方を中心に説明しました。期間中、多くの方々に参加して頂き、地元住民の方々から貴重なご質問や様々なご意見等を頂きました。



④陸自対空レーダーを用いた電波実測調査に係る萩市・阿武町各議会、萩市民及び阿武町民等の方々への現地説明会

平成31年3月11日から14日にかけてむつみ演習場等において陸自対空レーダーを用いた電波実測調査に係る現地説明会を開催しました。

今回の電波実測調査は、人体への影響について、地元の皆様から「机上検討（シミュレーション）のみで大丈夫なのか」といったご意見を踏まえ、イーグス・アショアと同じ周波数帯を使用する陸自対空レーダー（中SAM）を用いて実測した値とイーグス・アショアのレーダーの諸元からあらかじめ机上計算した値と比較することにより、机上計算の妥当性を実証することを目的としています。

現地説明会では、赤瀬中国四国防衛局長ほかが萩市議会及び阿武町議会へ電波実測調査の詳細な内容や進め方を中心に説明しました。期間中、萩市、阿武町及びそれ以外の多くの方々の皆様にも参加して頂き、貴重なご質問や様々なご意見等を頂きました。

赤瀬局長は「調査手法について、妥当かどうかをしっかりと見て頂き、電波の特性についても理解を深めて頂くことでご判断の一助になれば」と述べ、議会議員及び住民の方々へ今回の調査の目的を伝え、実測調査の内容を説明致しました。



防衛施設周辺対策事業の紹介(ソフト事業)

自衛隊や在日米軍の各種活動の拠点となる防衛施設とその周辺地域の調和を図るため、防衛省は「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」等に基づく各種施策を実施しています。

平成23年度には実態に即した効果的かつ効率的なものとなるよう制度の見直しを行い、同法9条に基づく特定防衛施設周辺整備調整交付金について、従来の公共用の施設の整備に加え、いわゆるソフト事業への交付が可能となり、平成30年度現在、中国四国防衛局管内の特定防衛施設関連市町において、下表のソフト事業を実施しています。

なお、本交付金については、平成26年度からPDCAサイクル*の徹底を図る取組などにより、交付金の効果の向上を図っているところです。

※(PDCA サイクルとは、プロジェクトの実行に際し、計画を立て(Plan)、実行(Do)し、その評価(Check)に基づき改善(Act)すると言う過程を継続的に繰り返す仕組みのこと。)

特定防衛施設周辺整備調整交付金事業(ソフト事業)一覧表

(単位:千円)

特定防衛施設名	関連市町村名	事 案 名	始期及び終期	経費の 予定総額	平成30年度 交付金額	備 考
岩国飛行場	岩国市	南岩国町三丁目地区環境対策 防犯設備整備事業	-	-	7,000	
		岩国市学校給食運営基金事業	-	-	18,513	
		岩国市学校給食運営基金事業	H29.10~H36.3	2,071,691	559,595	基金事業
		岩国市防犯設備基金事業	H29.10~H36.3	136,277	17,210	基金事業
		岩国市日米交流基金事業	H30.1~H36.3	446,361	136,834	基金事業
		こどもインフルエンザ予防接種助成事業	H28.10~H35.3	255,430	0	基金事業
		岩国市学校空調設備維持管理事業	H24.3~H39.3	156,815	0	基金事業
	7件		3,066,574	739,152		
呉港に所在する 防 衛 施 設	呉市	小・中学校講師等配置事業	-	-	29,142	
		学校支援員配置事業	-	-	99,000	
		2件			128,142	
徳島飛行場	松茂町	子どもはぐくみ医療費助成事業	H28.8~H35.3	19,609	0	基金事業
		町立小中学校助教員等配置事業	-	-	8,000	
		町立文化施設専門職員配置事業	-	-	10,000	
		3件			19,609	18,000
美保飛行場	境港市	保育所職員配置事業	-	-	20,000	
		1件			20,000	

※千円未満切捨て

代表例

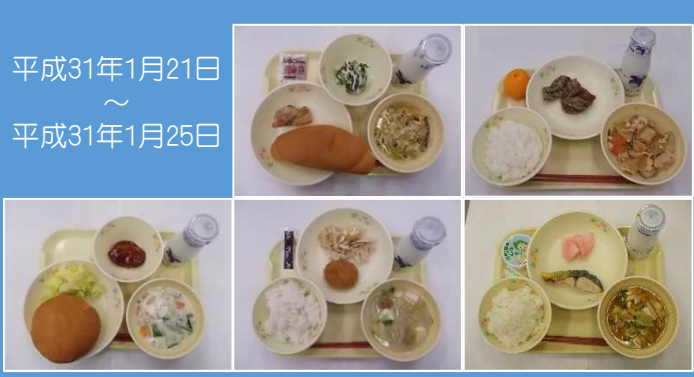
【松茂町】教育、スポーツ及び文化に関する事業
(町立文化施設専門職員配置事業)



現場の声を頂きました。

司書を増員したことにより、様々な行事が実施され、地域の教育及び文化環境の充実が図られました。

【岩国市】教育、スポーツ及び文化に関する事業
(岩国市学校給食運営基金事業)



学校給食費の無償化により、保護者の経済的負担が軽減され、安心して子育てできるまちづくりが推進されました。

特定防衛施設周辺整備調整交付金については、防衛省HP (<http://www.mod.go.jp/>) も御確認ください。

広島経済大学における藤本防衛補佐官による講義

平成30年11月22日、広島市安佐南区にある広島経済大学において、同大学川村教授からリスク・マネージメントの授業の一環として依頼があり、中国四国防衛局防衛補佐官藤本好央1等海佐が「わが国の安全保障政策について～自衛隊とリスクマネジメント～」と題して、同大学学生に対して講義を行い、現役の自衛官からの講義が聴けるということで、興味のある学生が熱心に聴講していました。

中国四国防衛局では、防衛省の政策や自衛隊の活動等に関する講演等について、当局管内の自治体や大学等でご要望があれば、防衛省・自衛隊から講師を派遣いたします。



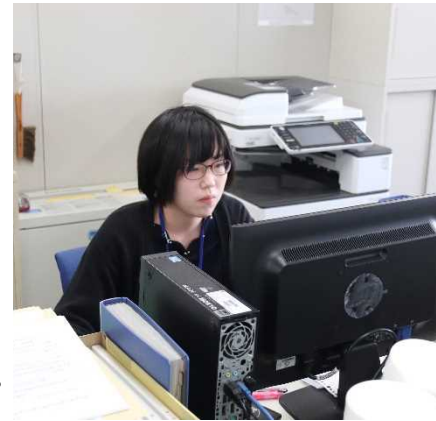
職員の独り言

私は平成30年4月1日付けの新規採用となり、施設取得課に配属されました。

主に、米軍が有料道路を使用した際に道路事業者が被る損失の補償に関する業務をしています。細かい数字の確認作業が大変であり、まだ慣れないことも多々ありますが、今後は早く必要な知識を身につけて業務に取り組みたいです。

帰宅後や休日は家でのおんびり過ごし、社会人のバレーボールのサークルに参加して体を動かしたり、仕事以外の時間を楽しむことでしっかりリフレッシュするようにしています。

仕事と私生活を共に充実させられるよう、励んでいきたいと思っております。



おたに なほ
(施設取得課 大谷 奈帆)



しもおか あつし
(調達計画課 下岡 厚嗣)

平成24年に入省し、平成28年に中国四国防衛局に異動して来ました。

入省当時より、6年間土木課に勤務し、各部隊が要望する防衛施設についてより良く作るための、工事の発注及び工事の監督業務に携わってきました。

当局に異動してからは、山口県岩国市(愛宕山)に一般市民の方々も利用することが出来るスポーツコンプレックスの監督にも携わることが出来ました。普段、工事の監督を行う施設は、性質上、限られた人にしか利用出来ないため、愛宕山の野球場の完成後に開催された広島東洋カープの2軍戦を観戦した際には、自分が監督した施設をこんなにも多くの人々が利用してくれていることに感動を覚え、自分の仕事の意味と役割の認識をより自覚することが出来ました。

今後も、防衛技官として、より良い防衛施設を作るために、資格の取得等、持てる技術の自己研鑽を行って行きたいと思っております。

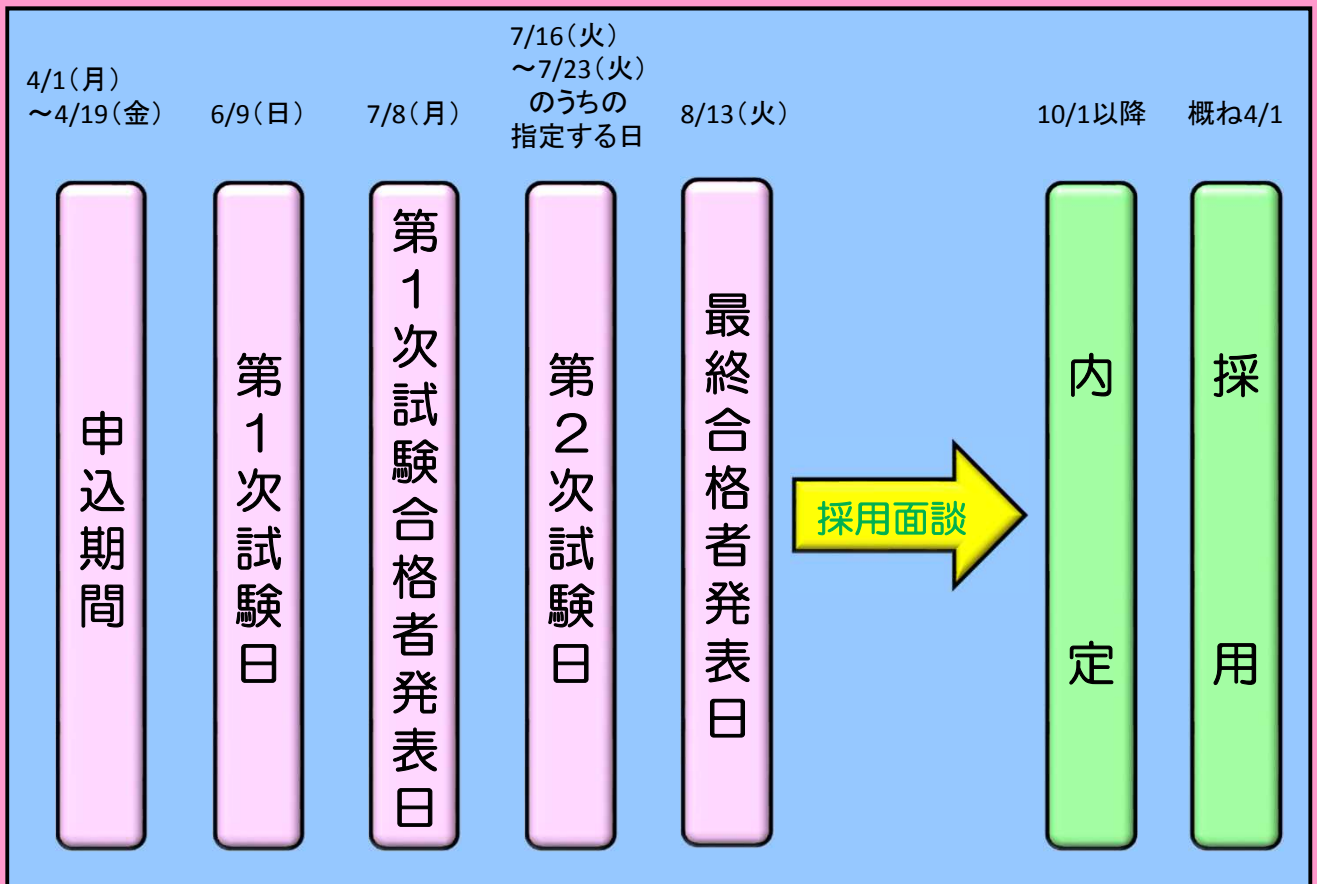
2019年度防衛省専門職員採用試験についての御案内

防衛省専門職員とは

防衛省専門職員は、高い語学力とグローバルな視野を活かして、日本の安全を支えるため、本省内部部局をはじめ、省内の各機関において様々な業務に従事しています。

試験日程及び採用までの流れ

申 込 期 間	2019年4月1日(月)～4月19日(金)
第 1 次 試 験 日	2019年6月9日(日)
第 1 次 試 験 合 格 者 発 表 日	2019年7月8日(月)
第 2 次 試 験 日	2019年7月16日(火)～7月23日(火)のうちの指定する日
最 終 合 格 者 発 表 日	2019年8月13日(火)



興味のある方は、防衛省HPに「採用パンフレット」や「受験案内」等が掲載されておりますので是非一度、ご覧になってみて下さい。

